

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-330902

(43)Date of publication of application : 30.11.2000

(51)Int.Cl.

G06F 13/00

(21)Application number : 11-144643

(71)Applicant : SONY CORP

(22)Date of filing : 25.05.1999

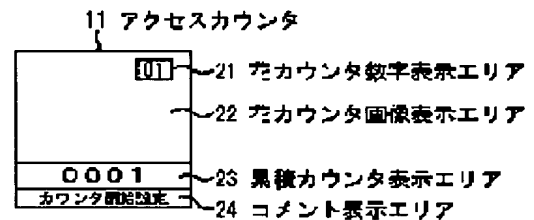
(72)Inventor : HAYASHI SHOICHI

(54) DEVICE AND METHOD FOR INFORMATION PROCESSING, AND MEDIUM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To actualize a graphical access counter which presses reaccess.

SOLUTION: In a flower counter number display area 21 of the access counter 11, a flower counter value is displayed which is increased each time access is gained and reset in specific cycles. In a flower counter image display area 22, an image of a plant which grows corresponding to the flower counter value is displayed. In a cumulative counter display area 23, a cumulative counter value is displayed which is increased each time access is gained. In a comment display area 24, a message from a server side is displayed. Here, the flower counter value and cumulative counter value are increased once a day even when the homepage is accessed multiple times in a day.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-330902

(P2000-330902A)

(43) 公開日 平成12年11月30日 (2000. 11. 30)

(51) Int.Cl.⁷

G 0 6 F 13/00

識別記号

3 5 4

F I

G 0 6 F 13/00

テーマコード(参考)

3 5 4 A 5 B 0 8 9

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願平11-144643

(22) 出願日 平成11年 5 月25日 (1999. 5. 25)

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川 6 丁目 7 番35号

(72) 発明者 林 彰一

東京都品川区北品川 4 丁目 7 番35号 ソニー
コミュニケーションネットワーク株式会
社内

(74) 代理人 100082131

弁理士 稲本 義雄

Fターム(参考) 5B089 GA11 GA21 JA09 JB14 KA13

KA14 KB03 KB10 KC47 LB08
LB25

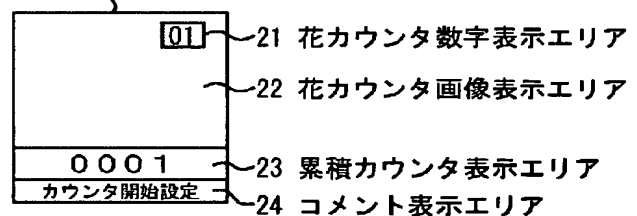
(54) 【発明の名称】 情報処理装置および方法、並びに媒体

(57) 【要約】

【課題】 再アクセスを促すグラフィカルなアクセスカウンタを実現する。

【解決手段】 アクセスカウンタ 11 の花カウンタ数字表示エリア 21 には、アクセス毎にインクリメントされて、所定の周期毎にリセットされる花カウンタ値が表示される。花カウンタ画像表示エリア 22 には、花カウンタ値に対応して成長する植物の画像が表示される。累積カウンタ表示エリア 23 には、アクセス毎にインクリメントされる累積カウンタ値が表示される。コメント表示エリア 24 には、サーバ側からのメッセージが表示される。ただし、花カウンタ値および累積カウンタ値は、たとえ 1 日に複数回当該ホームページにアクセスしたとしても、1 日に 1 ずつしかインクリメントされない。

11 アクセスカウンタ



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネットワークを介して複数の情報端末からアクセスされる情報処理装置において、前記情報端末からのアクセスに対応して、第1の情報を生成して前記情報端末に供給する生成手段と、前記情報端末が送信した前記第1の情報を受信する受信手段と、前記受信手段が受信した前記第1の情報に含まれるアクセス回数および累積アクセス回数を所定のアルゴリズムに従ってインクリメントするインクリメント手段と、所定の周期毎に前記アクセス回数を初期化する初期化手段と、前記インクリメント手段がインクリメントした前記アクセス回数に対応して成長する仮想生物、前記アクセス回数、および前記累積アクセス回数を示す画像の情報を前記情報端末に送信する送信手段と、前記インクリメント手段がインクリメントした前記アクセス回数または前記累積アクセス回数に対応して、所定のイベントを実行するイベント実行手段とを含むことを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】 前記インクリメント手段は、前記情報端末からのアクセスに対応し、1日に1回を上限として前記アクセス回数をインクリメントすることを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】 前記第1の情報は、クッキーであって、前記情報端末の識別情報、前記アクセス回数、前記累積アクセス回数、またはイベント参加フラグを含むことを特徴とする請求項2に記載の情報処理装置。

【請求項4】 前記第1の情報の異常を検出する検出手段をさらに含むことを特徴とする請求項3に記載の情報処理装置。

【請求項5】 ネットワークを介して複数の情報端末からアクセスされる情報処理装置の情報処理方法において、前記情報端末からのアクセスに対応して、第1の情報を生成して前記情報端末に供給する生成ステップと、前記情報端末が送信した前記第1の情報を受信する受信ステップと、前記受信ステップで受信した前記第1の情報に含まれるアクセス回数および累積アクセス回数を所定のアルゴリズムに従ってインクリメントするインクリメントステップと、所定の周期毎に前記アクセス回数を初期化する初期化ステップと、前記インクリメントステップでインクリメントした前記アクセス回数に対応して成長する仮想生物、前記アクセス回数、および前記累積アクセス回数を示す画像の情報を前記情報端末に送信する送信ステップと、前記インクリメントステップでインクリメントした前記アクセス回数または前記累積アクセス回数に対応して、

所定のイベントを実行するイベント実行ステップとを含むことを特徴とする情報処理方法。

【請求項6】 ネットワークを介する複数の情報端末からのアクセスを処理する情報処理用のプログラムであって、前記情報端末からのアクセスに対応して、第1の情報を生成して前記情報端末に供給する生成ステップと、前記情報端末が送信した前記第1の情報を受信する受信ステップと、前記受信ステップで受信した前記第1の情報に含まれるアクセス回数および累積アクセス回数を所定のアルゴリズムに従ってインクリメントするインクリメントステップと、所定の周期毎に前記アクセス回数を初期化する初期化ステップと、前記インクリメントステップでインクリメントした前記アクセス回数に対応して成長する仮想生物、前記アクセス回数、および前記累積アクセス回数を示す画像の情報を前記情報端末に送信する送信ステップと、前記インクリメントステップでインクリメントした前記アクセス回数または前記累積アクセス回数に対応して、所定のイベントを実行するイベント実行ステップとを含むことを特徴とするプログラムをコンピュータに実行させる媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、情報処理装置および方法、並びに媒体に関し、特に、ホームページにアクセスした人の個人毎のアクセス回数を数える場合に用いて好適な情報処理装置および方法、並びに媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】 例えば、図1に示すようなインターネット上のホームページに設置されているアクセスカウンタは、当該ホームページが不特定の人物によりアクセスされた回数を数字として表示するものであり、主に、当該ホームページの作成者がホームページの人気の程度を把握することを目的として、また、アクセスした人に対して、ホームページの人気度をアピールすることを目的として設置されたものである。

【0003】 ところで最近、不特定の人物によるアクセス回数をカウントするだけではなく、特定の人物（ホームページの作成者）が当該ホームページにアクセスした回数をカウントし、そのアクセス回数に対応してホームページ上に生存する仮想電子生物が成長し、その画像が表示されるようなグラフィカルなアクセスカウンタが存在する。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 そのようなグラフィカルなアクセスカウンタは、当該ホームページ作成者に対

しては、再アクセスを促す効果が期待できるが、ホームページにアクセスした不特定の人物に対しては、再アクセスを促す効果が期待できない課題があった。

【0005】本発明はこのような状況に鑑みてなされたものであり、ホームページにアクセスした不特定の人物に対して個別にアクセス回数をカウントし、そのカウンタ値に対応して、所定のイベントを実行することにより、再アクセスを促すグラフィカルなアクセスカウンタを実現するようにするものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】請求項1に記載の情報処理装置は、情報端末からのアクセスに対応して、第1の情報を生成して情報端末に供給する生成手段と、情報端末が送信した第1の情報を受信する受信手段と、受信手段が受信した第1の情報に含まれるアクセス回数および累積アクセス回数を所定のアルゴリズムに従ってインクリメントするインクリメント手段と、所定の周期毎にアクセス回数を初期化する初期化手段と、インクリメント手段がインクリメントしたアクセス回数に対応して成長する仮想生物、アクセス回数、および累積アクセス回数を示す画像の情報を情報端末に送信する送信手段と、インクリメント手段がインクリメントしたアクセス回数または累積アクセス回数に対応して、所定のイベントを実行するイベント実行手段とを含むことを特徴とする。

【0007】前記インクリメント手段は、情報端末からのアクセスに対応し、1日に1回を上限としてアクセス回数をインクリメントするようにすることができる。

【0008】請求項4に記載の情報処理装置は、第1の情報の異常を検出する検出手段をさらに含むことを特徴とする。

【0009】請求項5に記載の情報処理方法は、情報端末からのアクセスに対応して、第1の情報を生成して情報端末に供給する生成ステップと、情報端末が送信した第1の情報を受信する受信ステップと、受信ステップで受信した第1の情報に含まれるアクセス回数および累積アクセス回数を所定のアルゴリズムに従ってインクリメントするインクリメントステップと、所定の周期毎にアクセス回数を初期化する初期化ステップと、インクリメントステップでインクリメントしたアクセス回数に対応して成長する仮想生物、アクセス回数、および累積アクセス回数を示す画像の情報を情報端末に送信する送信ステップと、インクリメントステップでインクリメントしたアクセス回数または累積アクセス回数に対応して、所定のイベントを実行するイベント実行ステップとを含むことを特徴とする。

【0010】請求項6に記載の媒体のプログラムは、情報端末からのアクセスに対応して、第1の情報を生成して情報端末に供給する生成ステップと、情報端末が送信した第1の情報を受信する受信ステップと、受信ステップで受信した第1の情報に含まれるアクセス回数および

累積アクセス回数を所定のアルゴリズムに従ってインクリメントするインクリメントステップと、所定の周期毎にアクセス回数を初期化する初期化ステップと、インクリメントステップでインクリメントしたアクセス回数に対応して成長する仮想生物、アクセス回数、および累積アクセス回数を示す画像の情報を情報端末に送信する送信ステップと、インクリメントステップでインクリメントしたアクセス回数または累積アクセス回数に対応して、所定のイベントを実行するイベント実行ステップとを含むことを特徴とする。

【0011】請求項1に記載の情報処理装置、請求項5に記載の情報処理方法、および請求項6に記載の媒体のプログラムにおいては、情報端末からのアクセスに対応して、第1の情報が生成されて情報端末に供給され、情報端末が送信した第1の情報が受信され、受信した第1の情報に含まれるアクセス回数および累積アクセス回数が所定のアルゴリズムに従ってインクリメントされる。また、所定の周期毎にアクセス回数が初期化される。さらに、インクリメントされたアクセス回数に対応して成長する仮想生物、アクセス回数、および累積アクセス回数を示す画像の情報が情報端末に送信され、インクリメントしたアクセス回数または累積アクセス回数に対応して、所定のイベントが実行される。

【0012】

【発明の実施の形態】本発明を適用した情報処理システムの構成例について、図2を参照して説明する。この情報処理システムは、インターネット4を介して接続されているサーバ1、および複数のパーソナルコンピュータ(PC、以下、パソコンと記述する)5-1乃至5-n(以下、パソコン5-1乃至5-nを個々に区別する必要がある場合、単にパソコン5と記述する)から構成される。

【0013】サーバ1は、記憶部3が記憶するサーバプログラムやCGI(Common Gateway Interface)スクリプトに従って、所定の処理を実行する制御部2、および、サーバプログラム、ホームページの画像を実現するHTML(Hyper Text Markup Language)ファイル、HTMLファイルから呼び出されるCGIスクリプト等を記憶する記憶部3から構成される。パソコン5は、内蔵するハードディスクに記録されているWWW(World Wide Web)ブラウザを実行することにより、インターネット4を介して任意のサーバと接続する。

【0014】次に動作について説明する。パソコン5-1で起動されたWWWブラウザがインターネット4を介して、サーバ1で開設されるホームページにアクセスしてきた場合、サーバ1の制御部2は、記憶部3が記憶する当該ホームページのHTMLファイルを読み出し、インターネット4を介してパソコン5-1に送信する。HTMLファイルを受信したパソコン5-1のWWWブラウザは、HTMLファイルを開き、対応するホームページの画像(図3)を

ディスプレイ（不図示）に表示させる。

【0015】図3は、サーバ1からインタネット4を介してパソコン5-1に送信される、HTMLファイルに対応するホームページの画像を示している。同図に示すように、このホームページには、アクセスカウンタ11が設置されている。アクセスカウンタ11は、パソコン5-1から当該ホームページにアクセスされた回数を示すものであり、図4に示すように、花カウンタ数字表示エリア21、花カウンタ画像表示エリア22、累積カウンタ表示エリア23、およびコメント表示エリア24から構成される。

【0016】花カウンタ数字表示エリア21には、アクセス毎にインクリメントされて、所定の周期（例えば、32回目）でリセットされる花カウンタ値が表示される。花カウンタ画像表示エリア22には、花カウンタ値に対応して成長する植物の画像が表示される。累積カウンタ表示エリア23には、アクセス毎にインクリメントされる累積カウンタ値が表示される。コメント表示エリア24には、サーバ側からのメッセージが表示される。ただし、花カウンタ値および累積カウンタ値は、たとえ1日に複数回当該ホームページにアクセスしたとしても、1日に1ずつしかインクリメントされない。

【0017】次に、情報処理システムのカウンタ表示処理について、図5のフローチャートを参照して説明する。このカウンタ表示処理は、パソコン5で起動されたWWWブラウザが、サーバ1により開設されるホームページにアクセスし、これに対応してサーバ1からインタネット4を介して供給された、CGIスクリプトを呼び出すコマンドが記述されたHTMLファイルを開いたときに開始される。

【0018】パソコン5のWWWブラウザがHTMLファイルを開くことにより、サーバ1の制御部2に実行されたCGIスクリプトは、ステップS1において、WWWブラウザに対してクッキー(Cookie)の送信を要求する。

【0019】なお、クッキーとは、サーバ1が、アクセスカウンタのサービスに登録したWWWブラウザに送信し、パソコン5に保存されるファイルであり、WWWブラウザが起動されているパソコン5の識別情報、最終アクセス日時、累積カウンタ値、種の種類、花カウンタ値、イベント参加フラグ等（詳細は後述する）が暗号化されて記述されたものである。

【0020】クッキーの送信要求に対応して、WWWブラウザは、既にサーバ1から送信されてパソコン5に保存されているクッキーをインタネット4を介してサーバ1に送信する。ただし、パソコン5にクッキーが保存されていない場合、すなわち、アクセスカウンタのサービスに未登録の場合、その旨の情報がサーバ1に送信される。

【0021】ステップS2において、CGIスクリプトは、パソコン5からのクッキーを受信したか否かを判定

する。パソコン5からのクッキーを受信していない（アクセスカウンタのサービスに未登録である旨の情報を受信した）と判定された場合、ステップS3に進む。

【0022】ステップS3において、CGIスクリプトは、図4に示すようなアクセスカウンタ11の初期画面のデータを、インタネット4を介して、WWWブラウザに送信する。WWWブラウザは、アクセスカウンタ11の初期画面をディスプレイに表示させる。

【0023】なお、アクセスカウンタ11の初期画面のコメント表示エリア24には、アクセスカウンタのサービスに登録するときにクリックされる文字「カウンタ開始設定」が表示される。「カウンタ開始設定」がクリックされた場合、その情報がインタネット4を介してCGIスクリプトに送信される。

【0024】さらに、CGIスクリプトは、WWWブラウザのユーザがコメント表示エリア24の「カウンタ開始設定」をクリックすることによって、アクセスカウンタのサービスに登録する（カウンタの開始が設定する）まで待機し、カウンタの開始が設定されたと判定された場合、ステップS4に進む。

【0025】ステップS4において、CGIスクリプトは、累積カウンタ値を1に初期化する。ステップS5において、CGIスクリプトは、花カウンタ値を1に初期化し、イベント参加フラグを0とする。ステップS6において、CGIスクリプトは、種子選択ウィンドウ31（図6）の画像データをインタネット4を介して、WWWブラウザに送信する。WWWブラウザは、種子選択ウィンドウ31をディスプレイに表示させる。

【0026】なお、種子選択ウィンドウ31には、図6に示すように、選択可能な3種類の花の名称と、それぞれの花の種子を選択するときにクリックされるボタン32乃至34が表示される。ボタン32乃至34のうちのいずれか1つがクリックされた場合、その情報がインタネット4を介してCGIスクリプトに送信される。なお選択可能な花の種子の種類は、図7に示すように、2ヶ月毎に更新される。

【0027】ステップS7において、CGIスクリプトは、WWWブラウザが起動されているパソコン5の識別情報、最終アクセス日時、累積カウンタ値、種の種類、花カウンタ値、イベントへの参加フラグ等を暗号化して記述したクッキーを生成する。

【0028】ステップS8において、CGIスクリプトは、クッキーに記述されている情報に対応するアクセスカウンタ11の画像、すなわち、花カウンタ数字表示エリア21には花カウンタ値が表示され、花カウンタ画像表示エリア22には、種の種類および花カウンタ値に対応する花の画像が表示され、累積カウンタ表示エリア23には累積カウンタ値が表示され、コメント表示エリア24にはサーバ1からのWWWブラウザのユーザに対するメッセージが表示されたアクセスカウンタ11の画像

(いまの場合、図8(A))のデータを、インタネット4を介してWWWブラウザに送信する。WWWブラウザは、アクセスカウンタ11をディスプレイに表示させる。

【0029】ステップS9において、CGIスクリプトは、ステップS7で生成したクッキーを、インタネット4を介してWWWブラウザに送信する。WWWブラウザは、受信したクッキーをパソコン5に内蔵される記憶媒体に保存する。

【0030】なお、ステップS2において、パソコン5からのクッキーを受信したと判定された場合、ステップS10に進む。ステップS10において、CGIスクリプトは、受信したクッキーが正常であるか(不正に改ざんされていないか)否かを所定の方法により判定し、クッキーが正常であると判定した場合、ステップS11に進む。

【0031】ステップS11において、CGIスクリプトは、クッキーに記述されている最終アクセス日時が本日であるか否かを判定し、最終アクセス日時が本日でないと判定した場合、ステップS12に進む。

【0032】ステップS12において、CGIスクリプトは、クッキーに記述されている累積カウンタ値および花カウンタ値を、それぞれ1だけインクリメントする。ステップS13において、CGIスクリプトは、花カウンタ値が所定の値(例えば、21回)以上であるか否かを判定し、花カウンタ値が所定の値以上であると判定した場合、ステップS14に進む。ステップS14において、CGIスクリプトは、ラッキーチャンス処理を実行する。

【0033】ラッキーチャンスとは、当該ホームページに所定回数以上アクセスしたユーザに対して行われる、例えば、プレゼントの抽選イベント等に参加できる機会のことである。ラッキーチャンス処理の詳細について、図9のフローチャートを参照して説明する。

【0034】ステップS21において、クッキーに記述されているイベント参加フラグを読み出すことにより、イベントに参加済みであるか否かを判定する。イベント参加フラグに0が記述されておりイベントに参加済みではないと判定された場合、ステップS22に進む。

【0035】ステップS22において、CGIスクリプトは、図10に示すようなスピードくじウィンドウ41の画面データを、インタネット4を介してWWWブラウザに送信する。WWWブラウザは、スピードくじウィンドウ41をディスプレイに表示させる。

【0036】なお、スピードくじウィンドウ41には、イベントに参加するときにクリックされる「運だめしGO!」ボタン42が表示される。「運だめしGO!」ボタン42がクリックされた場合、その情報は、インタネット4を介してCGIスクリプトに送信される。

【0037】さらに、CGIスクリプトは、WWWブラウザのユーザが「運だめしGO!」ボタン42をクリックすることによって、イベントへの参加を申し込んだか否かを判

定する。イベントへの参加を申し込んだと判定された場合、ステップS23進む。

【0038】ステップS23において、CGIスクリプトは、クッキーに記述されているイベント参加フラグに参加済みであることを示す1を記述する。ステップS24において、CGIスクリプトは、例えば、乱数を用いた所定の方法により、スピードくじの当否を判定し、当たりと判定した場合、ステップS25に進む。ステップS25において、CGIスクリプトは、当選画面のデータを、インタネット4を介してWWWブラウザに送信する。WWWブラウザは、当選画面をディスプレイに表示させる。なお、当選画面には、図11に示す当選者登録ウィンドウ51がリンクされている。

【0039】ステップS26において、WWWブラウザは、ユーザが当選画面をクリックすることによって、当選者登録を申し込んだか否かを判定し、当選者登録を申し込んだと判定した場合、ステップS27進む。

【0040】ステップS27において、WWWブラウザは、リンクされている当選者登録ウィンドウ51の送信をサーバ1に要求する。この要求に対応して、サーバ1のサーバプログラムは、当選者登録ウィンドウ51に対応するHTMLデータを、インタネット4を介してWWWブラウザに送信する。WWWブラウザは、当選者登録ウィンドウ51をディスプレイに表示させる。

【0041】なお、当選者登録ウィンドウ51には、WWWブラウザのユーザに関する情報を入力する欄と、入力された情報を送信するときクリックされる送信ボタン52が表示される。

【0042】ステップS28において、WWWブラウザのユーザが当選者登録ウィンドウ51の入力欄に所定の情報を入力して送信ボタン52をクリックすると、入力欄に入力された情報は、インタネット4を介してサーバ1のCGIスクリプトに送信される。CGIスクリプトでは、送信された当選者の情報を登録(記録)する。登録された当選者の情報は、以降に実行されるプレゼントの発送に用いられる。

【0043】なお、ステップS24において、スピードくじの当否がハズレと判定された場合、ステップS29に進み、ステップS29において、CGIスクリプトは、ハズレ画面のデータを、インタネット4を介してWWWブラウザに送信する。WWWブラウザは、ハズレ画面をディスプレイに表示させる。図5のステップS15にリターンする。

【0044】また、ステップS21において、イベント参加フラグに1が記述されておりイベントに参加済みであると判定された場合、または、ステップS22において、スピードくじウィンドウ41を閉じる等、イベントへの参加を申し込まないと判定された場合、もしくは、ステップS26において、ユーザが当選画面をクリックせずに消去する等、当選者登録を行わないと判定された

場合、ラッキーチャンス処理を終了して、図5のステップS15にリターンする。

【0045】ステップS15において、CGIスクリプトは、花カウンタ値が32よりも小さいか否かを判定し、花カウンタ値が32よりも小さいと判定した場合、ステップS8に進む。

【0046】再度、ステップS8において、CGIスクリプトは、クッキーに記述されている情報に対応するアクセスカウンタ11の画像（例えば、図8(C)）のデータを、インターネット4を介してWWWブラウザに送信する。なお、花カウンタ値が所定値（21回）以上であって、かつ、イベント参加フラグが0であるときには、アクセスカウンタ11のコメント表示エリア24には、図8(B)に示すように「ラッキーチャンス!」と表示される。

【0047】なお、ステップS10において、受信したクッキーが正常ではないと判定された場合、ステップS16に進み、ステップS16において、CGIスクリプトは、図8(D)に示すようなアクセスカウンタ11の異常表示画面のデータを、インターネット4を介して、WWWブラウザに送信した後、ステップS3に戻り、それ以降の処理を繰り返す。

【0048】また、ステップS11において、クッキーに記述されている最終アクセス日時が本日であると判定された場合、ステップS12乃至S15がスキップされる。

【0049】また、ステップS13において、花カウンタ値が所定の値以上ではないと判定した場合、ステップS14がスキップされる。なお、ステップS13において、累積カウンタ値が所定の値以上であるか否かを判定するようにしてもよい。

【0050】また、ステップS15において、花カウンタ値が32よりも小さくないと判定された場合、ステップS5に戻り、それ以降の処理が繰り返される。

【0051】このようなカウンタ表示処理が実行されることにより、パソコン5-1乃至5-nのユーザがサーバ1で開設されるホームページにアクセスする度に、自分専用のアクセスカウンタがカウントされ、そのカウンタ値が数字だけではなく、成長する植物の画像として表示され、さらに、所定回数以上アクセスすれば、プレゼントが当たるスピードくじに参加できるので、パソコン5-1乃至5-nのユーザに対して、当該ホームページへの再アクセスを促進させることが可能となる。

【0052】また、上述したカウンタ表示処理においては、1日に1回を上限としてカウンタをインクリメントさせるようにしたが、このカウンタの制限は、ユーザが任意に変更することが可能である。

【0053】なお、クッキーに対応していないWWWブラウザでは、このアクセスカウンタは機能しない。

【0054】上述した一連の処理は、ソフトウェアによ

り実行させることができるが、ハードウェアにより実行させることも可能である。一連の処理をソフトウェアにより実行させる場合には、そのソフトウェアを構成するプログラムが、専用のハードウェアとしてのサーバ1に組み込まれているコンピュータ（制御部2に相当する）、または、各種のプログラムをインストールすることで、各種の機能を実行することが可能な、例えば汎用のパーソナルコンピュータなどにインストールされる。

【0055】次に、図12を参照して、上述した一連の処理を実行するプログラムをコンピュータにインストールし、コンピュータによって実行可能な状態とするために用いられる媒体について説明する。

【0056】プログラムは、図12(A)に示すように、コンピュータ101に内蔵されている記録媒体としてのハードディスク102や半導体メモリ103に予めインストールした状態でユーザに提供することができる。

【0057】あるいはまた、プログラムは、図12(B)に示すように、フロッピーディスク111、CD-ROM(Compact Disc-Read Only Memory)112、MO(Magneto Optical)ディスク113、DVD(Digital Versatile Disc)114、磁気ディスク115、半導体メモリ116などの記録媒体に、一時的あるいは永続的に格納し、パッケージソフトウェアとして提供することができる。

【0058】さらに、プログラムは、図12(C)に示すように、ダウンロードサイト121から、無線で衛星122を介して、コンピュータ123に転送したり、ローカルエリアネットワーク、インターネットといったネットワーク131を介して、有線または無線でコンピュータ123に転送し、コンピュータ123において、内蔵するハードディスクなどに格納させることができる。

【0059】本明細書における媒体とは、これら全ての媒体を含む広義の概念を意味するものである。

【0060】また、本明細書において、媒体により提供されるプログラムを記述するステップは、記載された順序に従って時系列的に行われる処理はもちろん、必ずしも時系列的に処理されなくとも、並列的あるいは個別に実行される処理をも含むものである。

【0061】なお、本明細書において、システムとは、複数の装置により構成される装置全体を表すものである。

【0062】

【発明の効果】以上のように、請求項1に記載の情報処理装置、請求項5に記載の情報処理方法、および請求項6に記載の媒体のプログラムによれば、受信した第1の情報に含まれるアクセス回数および累積アクセス回数を所定のアルゴリズムに従ってインクリメントし、インクリメントしたアクセス回数に対応して成長する仮想生物、アクセス回数、および累積アクセス回数を示す画像の情報を情報端末に送信し、インクリメントしたアクセス回数または累積アクセス回数に対応して、所定のイベ

ントを実行するようにしたので、再アクセスを促すグラフィカルなアクセスカウンタを実現することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】従来のアクセスカウンタの一例を示す図である。

【図2】本発明を適用した情報処理システムの構成例を示すブロック図である。

【図3】サーバ1が開設するホームページに設置されたアクセスカウンタ11を示す図である。

【図4】アクセスカウンタ11の詳細を示す図である。

【図5】情報処理システムのカウンタ表示処理を説明するフローチャートである。

【図6】種子選択ウィンドウ31を示す図である。

【図7】選択可能な種子の種類を説明するための図である。

【図8】アクセスカウンタ11の表示例を示す図である。

る。

【図9】ラッキーチャンス処理を説明するフローチャートである。

【図10】スピードくじウィンドウ41を示す図である。

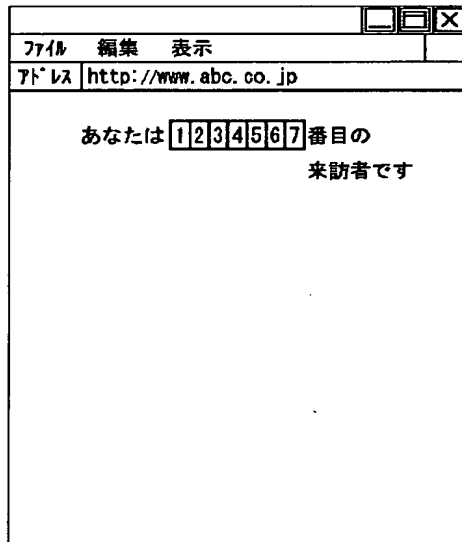
【図11】当選者登録ウィンドウ51を示す図である。

【図12】プログラムをコンピュータにインストールし、実行可能な状態とするために用いられる媒体について説明するための図である。

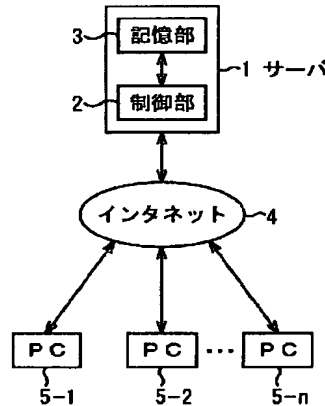
【符号の説明】

1 サーバ、 2 制御部、 3 記憶部、 4 インタネット、 5 パーソナルコンピュータ、 11 アクセスカウンタ、 21 花カウンタ数字表示エリア、 22 花カウンタ画像表示エリア、 23 累積カウンタ表示エリア、 24 コメント表示エリア、 31 種子選択ウィンドウ、 41 スピードくじウィンドウ、 51 当選者登録ウィンドウ

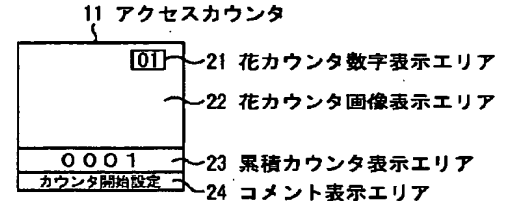
【図1】



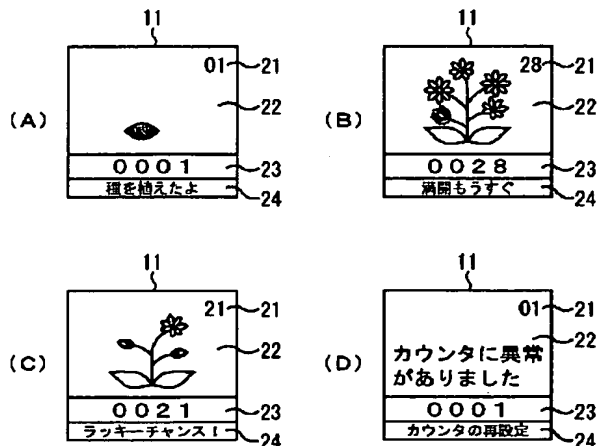
【図2】



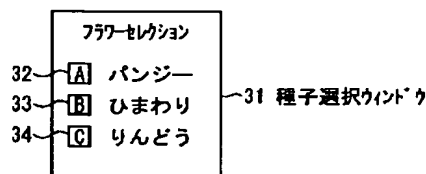
【図4】



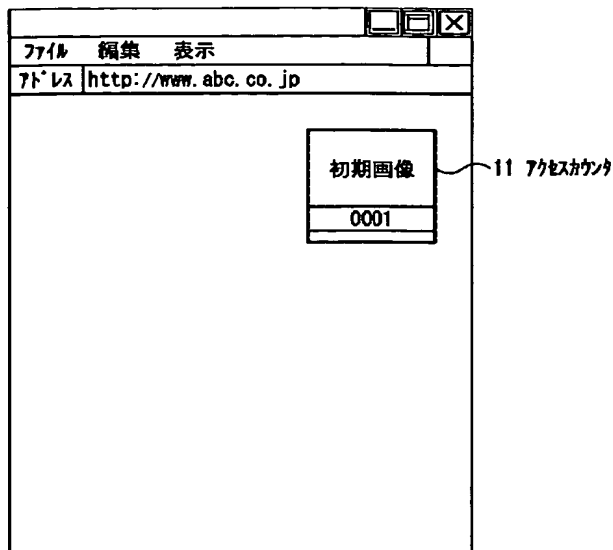
【図8】



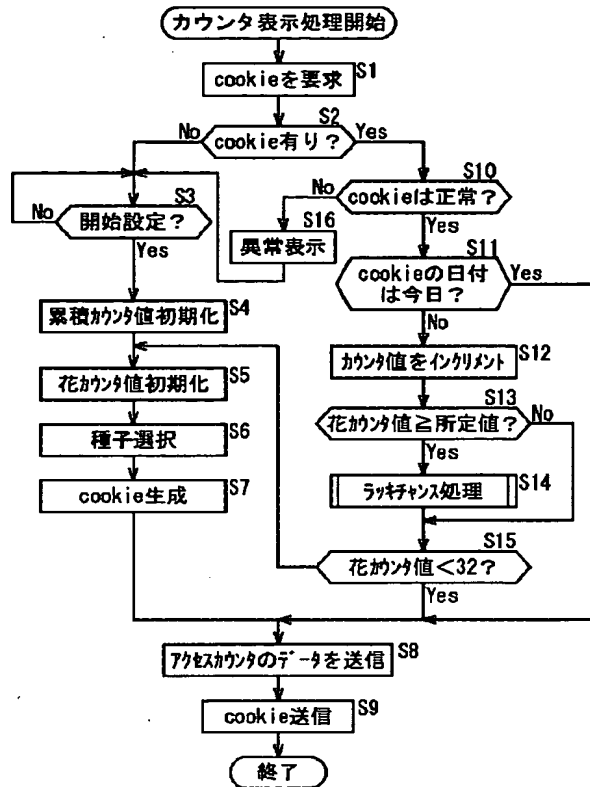
【図6】



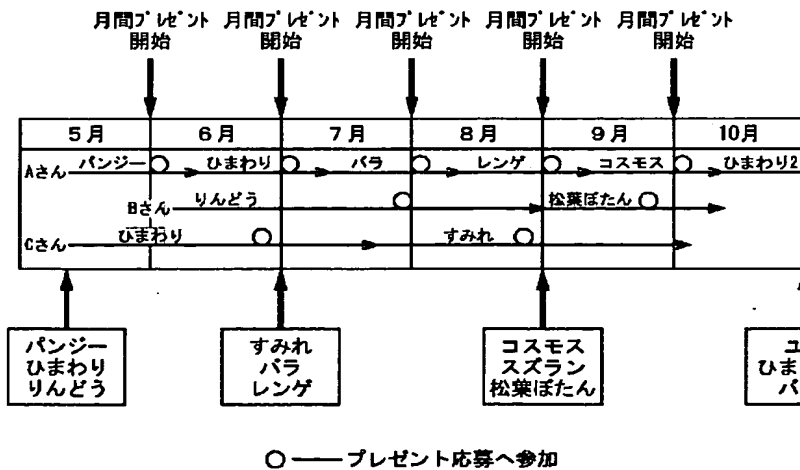
【図3】



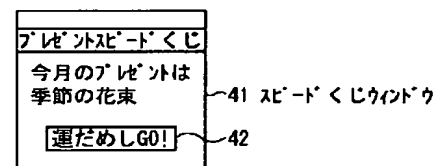
【図5】



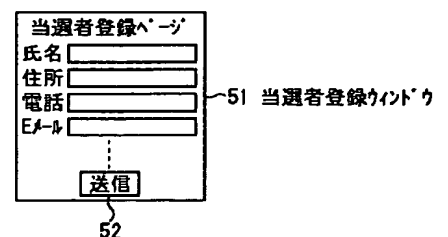
【図7】



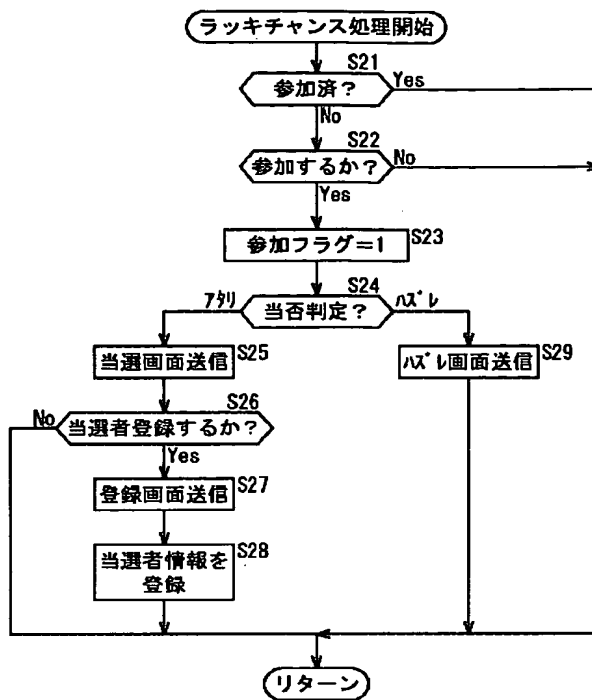
【図10】



【図11】

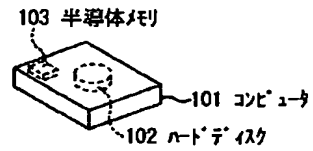


【図9】

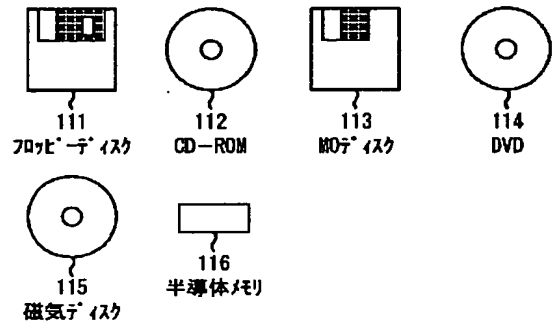


【図12】

(A)



(B)



(C)

